

## 2.3.3 地象の状況

### (1) 地形

対象事業実施区域周辺の地形は図2-3-6 に示すとおりである。

「土地分類基本調査（国土調査；長野：経済企画庁1974年）」によると、対象事業実施区域は犀川扇状地で、砂礫堆が広がっている。

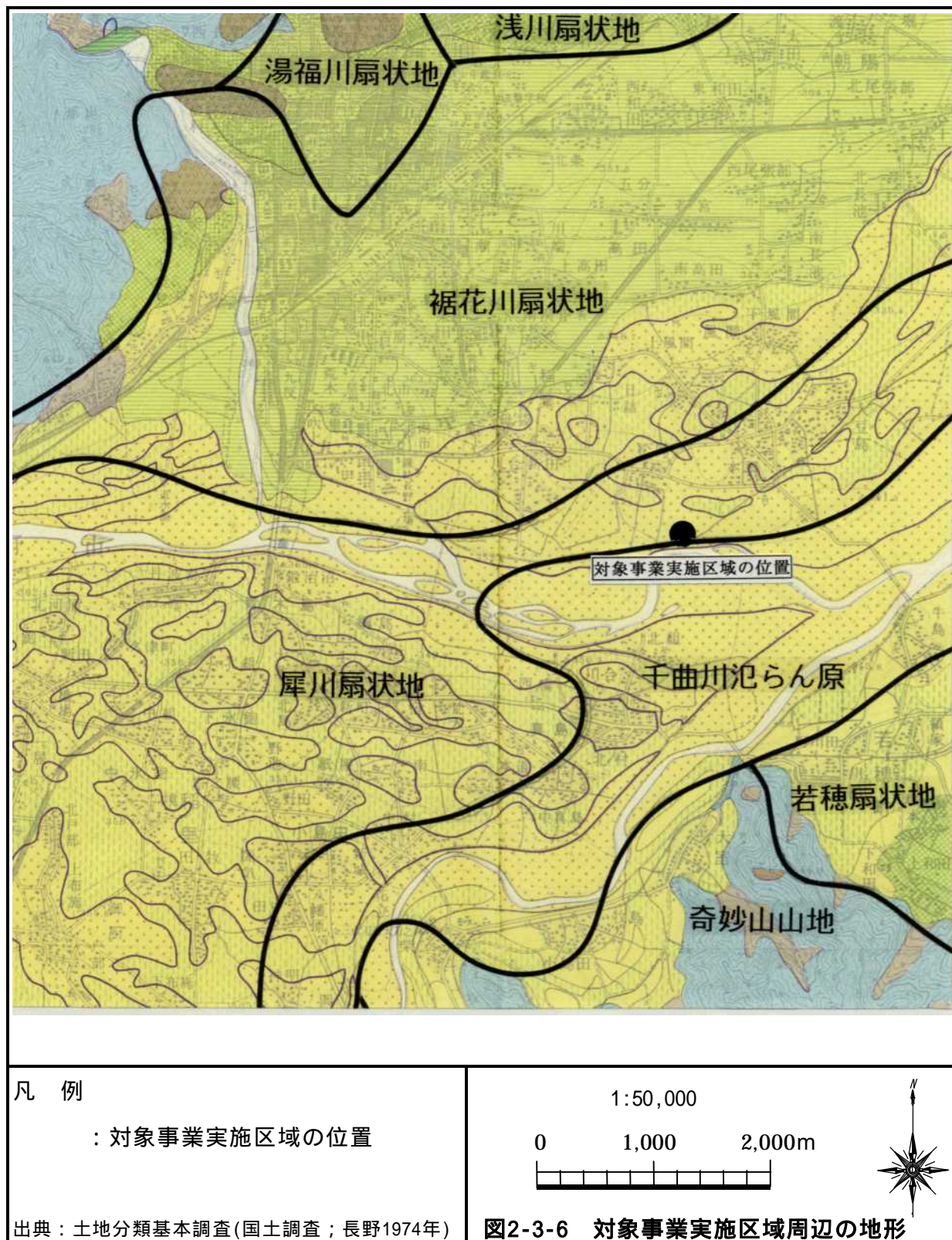
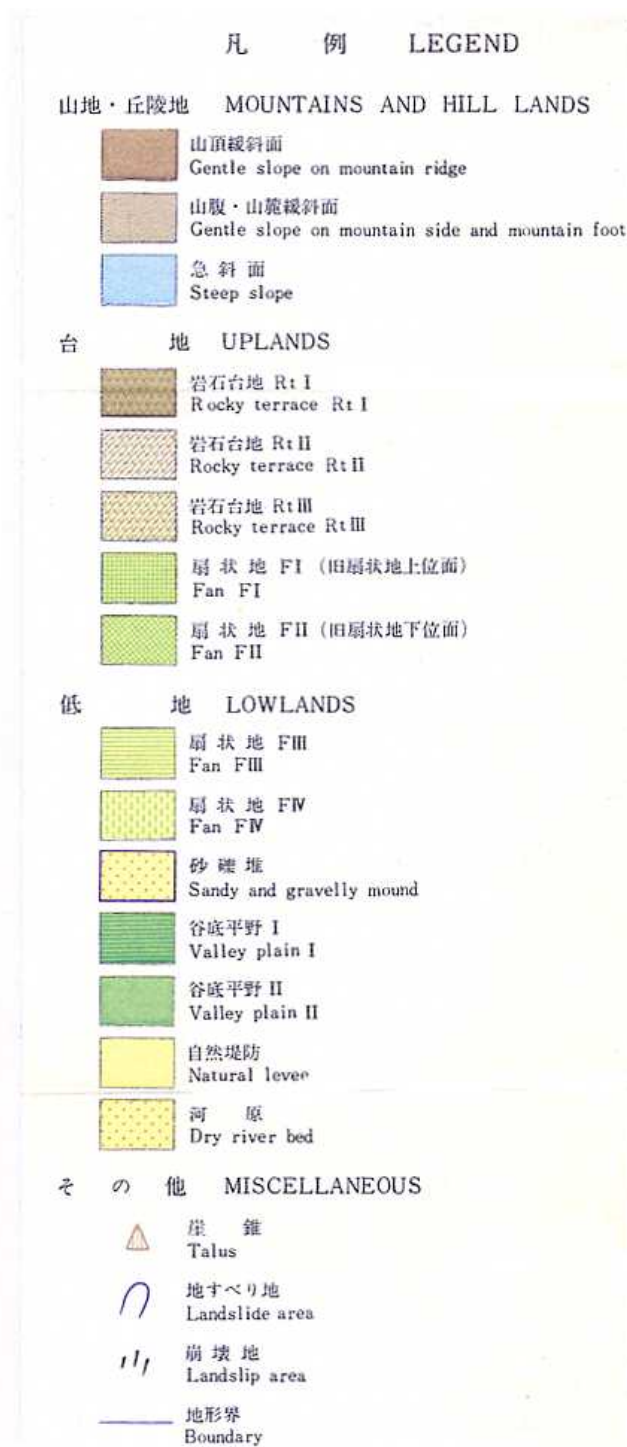


図2-3-6の凡例





## (2) 地質

### 1) 土地分類基本調査結果

「土地分類基本調査(国土調査; 経済企画庁: 1974年)」による対象事業実施区域周辺の表層地質及び柱状図は、図2-3-7に示すとおりである。

これによると、対象事業実施区域の表層地質は「礫がち表土」である。

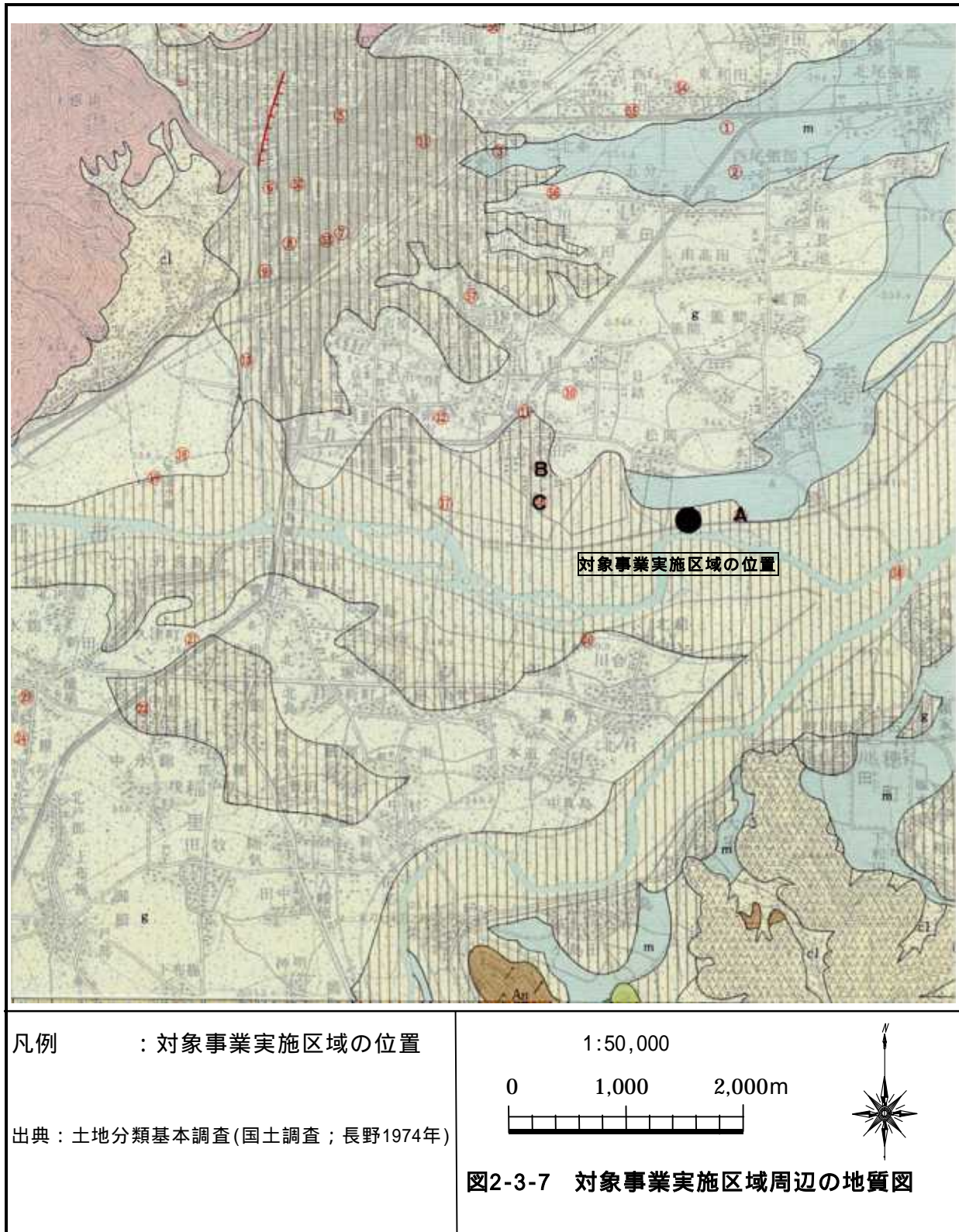
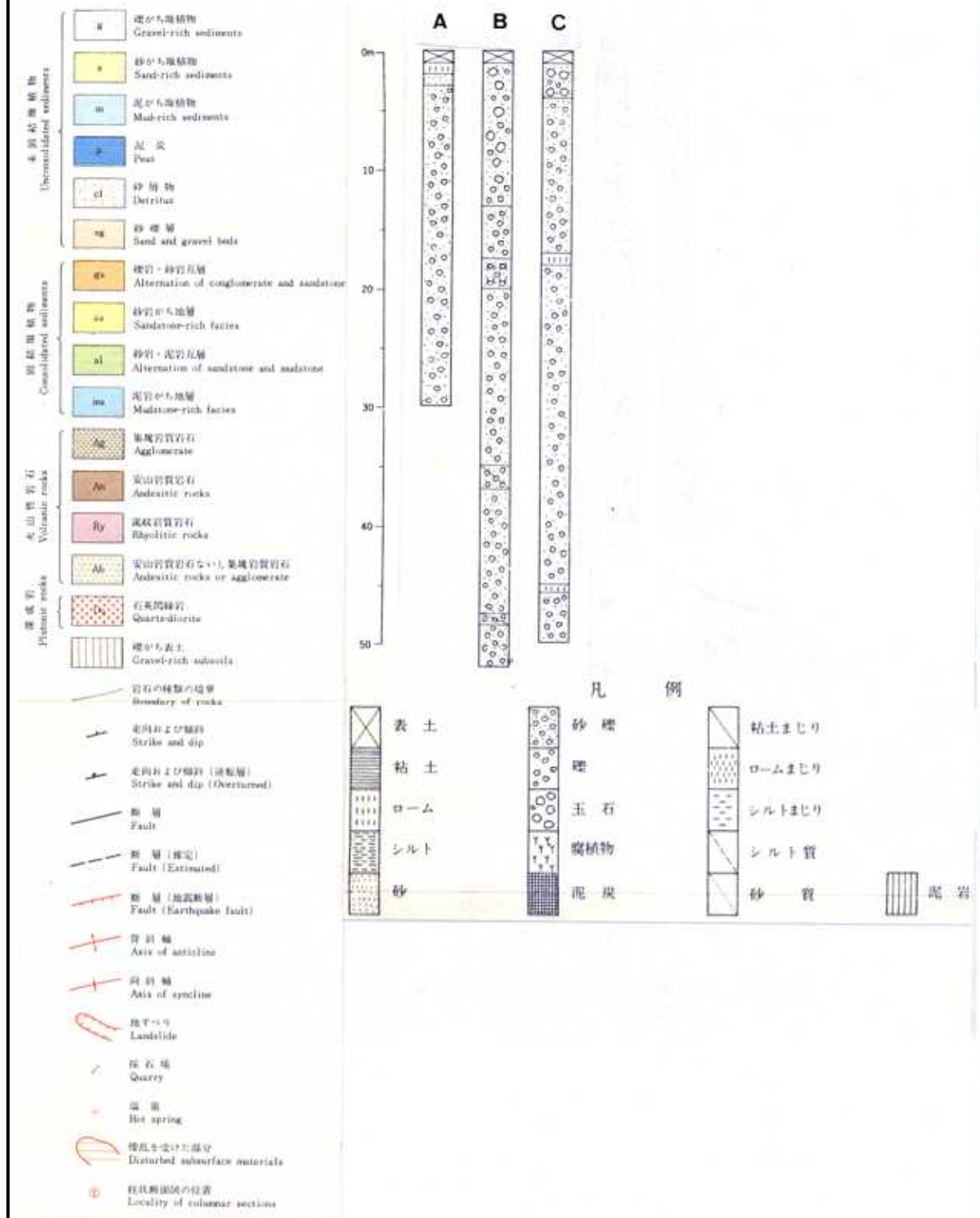


図2-3-7の凡例及び柱状図



## 2) 対象事業実施区域の地質調査結果

平成18年度に長野広域連合が実施した対象事業実施区域の地質調査結果は、図2-3-8～図2-3-12及び以下に示すとおりである。

対象事業実施区域は、犀川左岸に広がる氾濫原地帯の自然堤防に位置し、地質は洪積世後期～沖積世の未固結堆積物が分布する。

地表より2 m前後までは、埋土や粘性土で被われ、以深は主に砂礫が厚く分布している。



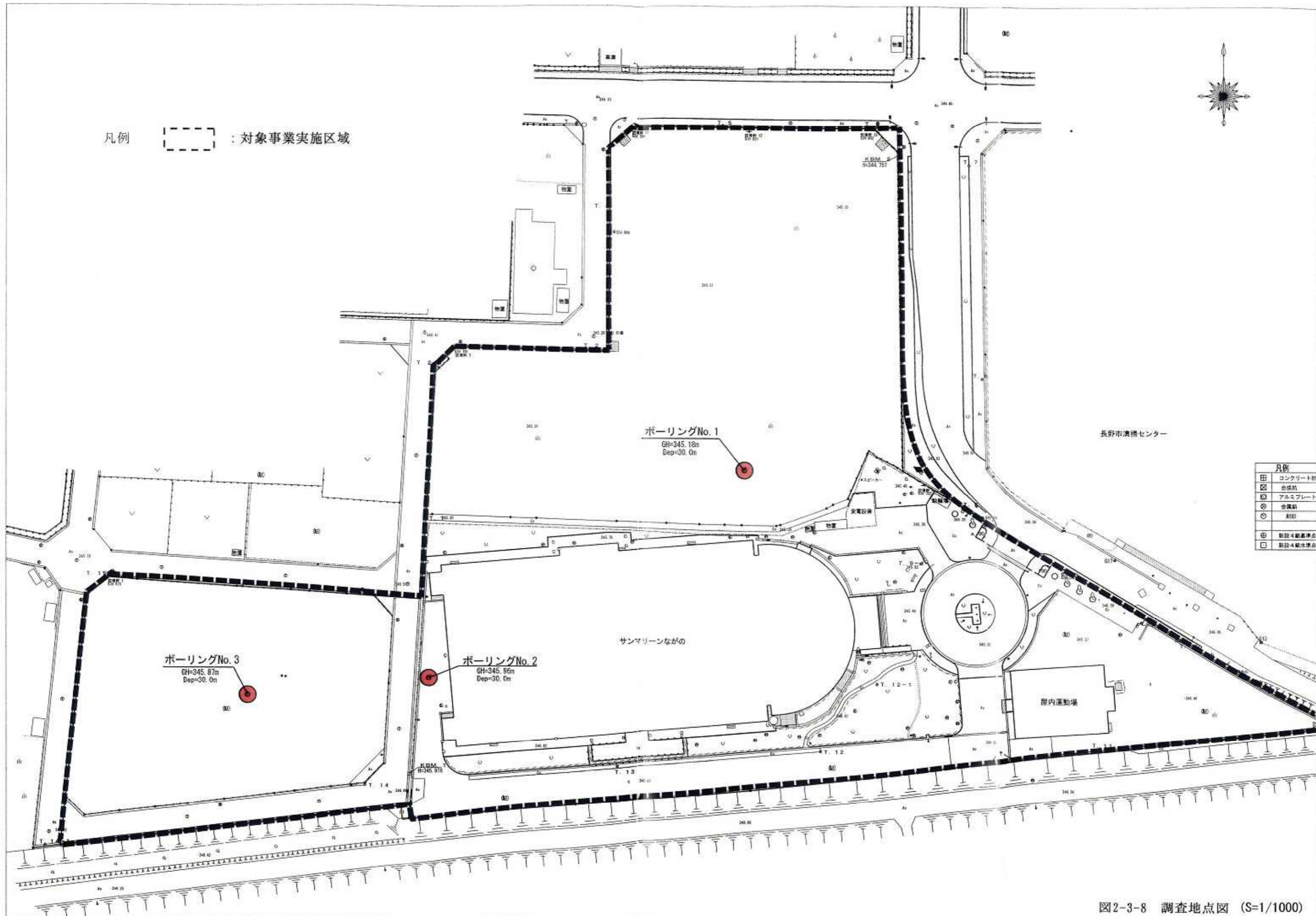
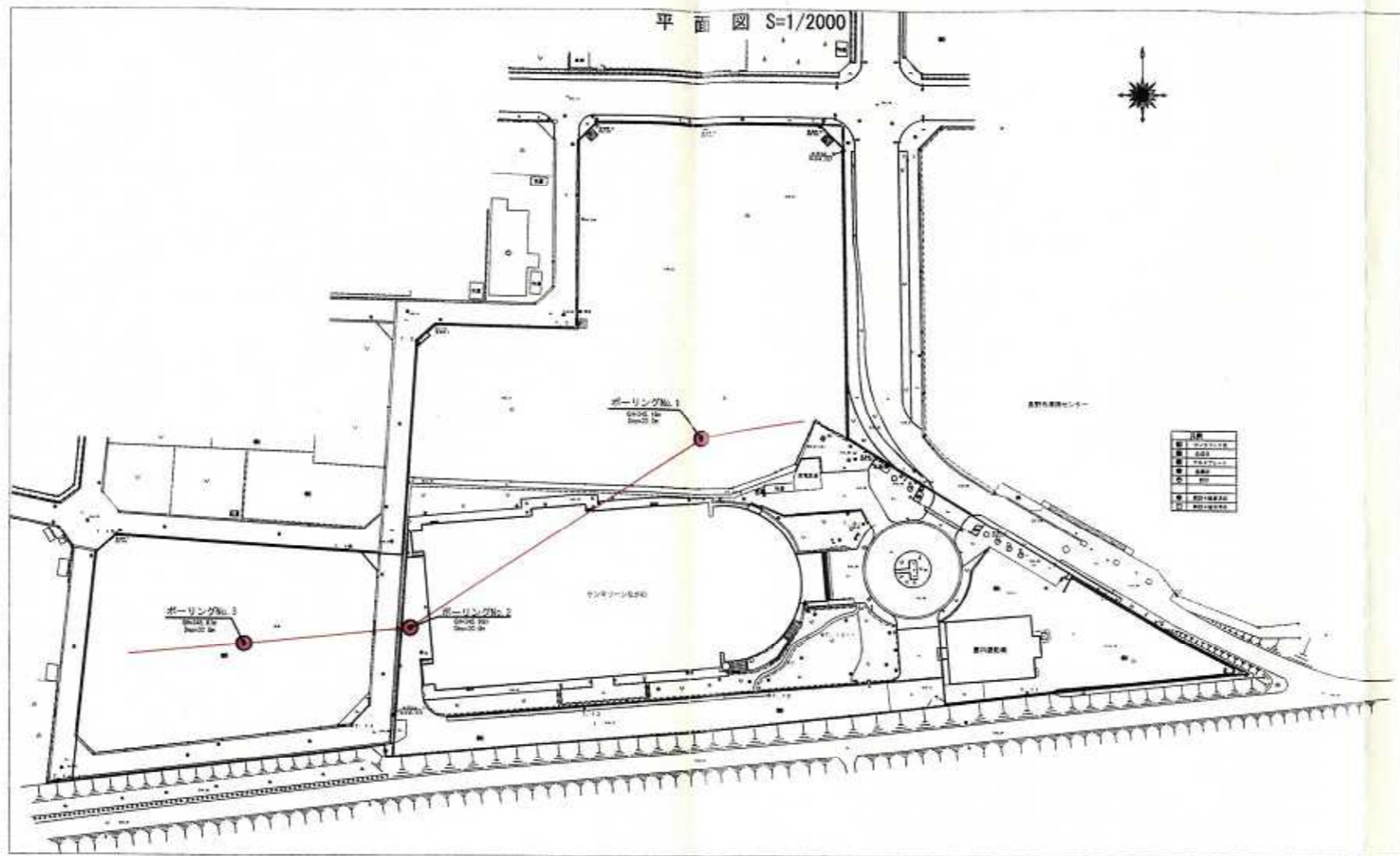
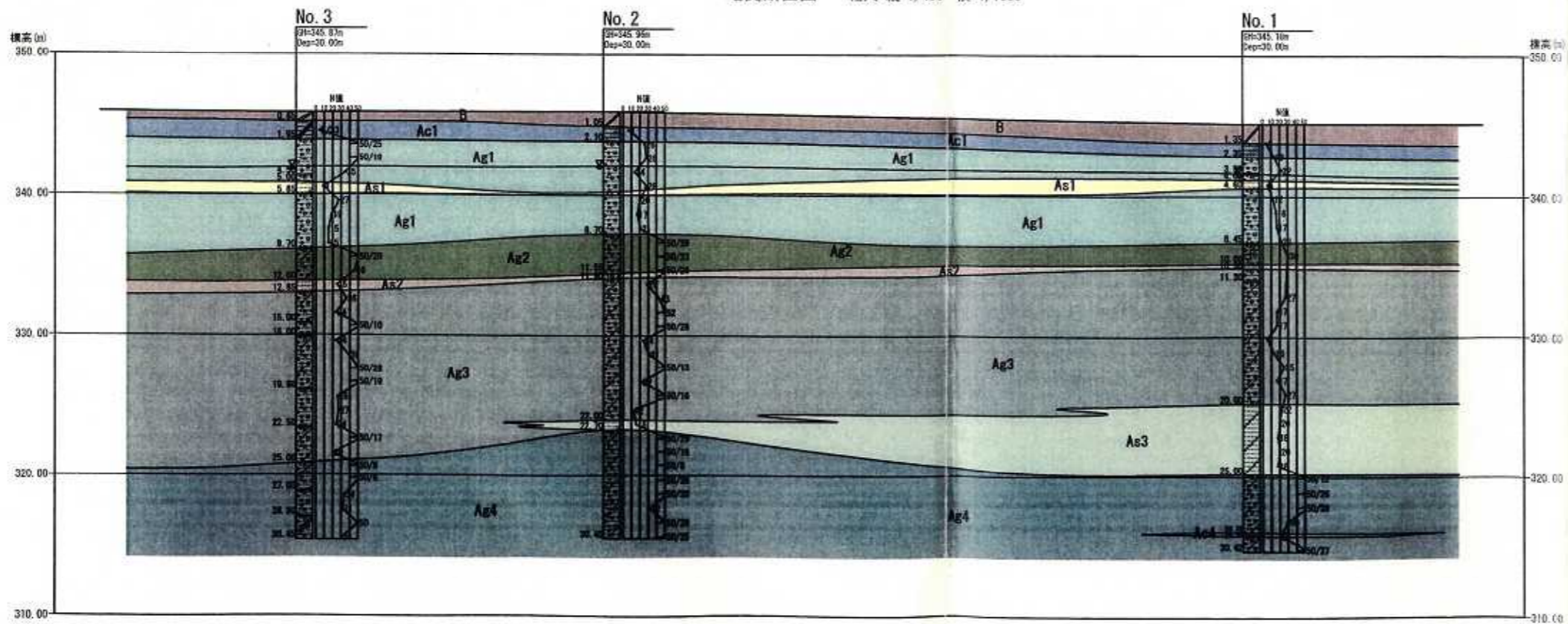


図2-3-8 調査地点図 (S=1/1000)





地質断面図 縮尺 縦=1/400 横=1/1000



凡例

区分	地層名	記号	主な土質	N値	註 明
表層	埋土層	B	埋土	-	卵石や粘土。
	粘性土層1	As1	砂質シルト 粘土質シルト	4-7	埋土の下から深さ2.0ないし2.4m程度まで軟弱粘性土。 断るかい〜中位の締まり。
上部	砂層1	Ag1	砂	12-50	40m程度以下の硬質円礫を主体とするが、砂分の多いところや粒大な礫が多いところがあり、空隙率や密度のばらつきが大きい。埋土層の下部にN値50以上の砂層もあるが、全体的には中程度の締まり。
	砂層1	As1	練り砂	6-9	かなり均等程度の中砂〜細砂。締まりは弱い。
中部	砂層2	Ag2	シルト混り砂 玉石混り砂	20-50	50m以下の硬質円礫を主体とし、粒大な礫が混る。やや密な締まり。
	砂層2	As2	砂	25	かなり均等程度の中砂が主体。中程度の締まり。
下部	砂層3	Ag3	シルト混り砂 砂	5-50	50m程度以下の硬質円礫を主体とし、粒大な礫が混る。砂分が多いところや粒大な礫が混る。空隙率や密度のばらつきが大きい。局部的に砂分が混り出し、N値は中程度のところがある。N値は中程度のところがある。No. 2, No. 3に比べNo. 1の方が小さい。全体的には中程度の締まり。
	砂層3	As3	練り砂	16-22	中砂〜細砂を主体とし、少量の礫が混る。中程度の締まり。
底層	下砂層4	Ag4	シルト混り砂 砂	20-50	50m程度以下の硬質円礫〜埋土層を主体とし、粒大な礫が混る。上位の砂層と大きな土質の差はないが、埋土層の締まりはよくなる。N値はすべて30以上を示し、N値50以上を示すところが多い。密な締まり。
	粘性土層4	As4	練りシルト	0	No. 1孔のAg4層中に局部的に混在する粘土。10mごとの打撃回数から換算されるN値は7で、中位の締まりである。

図2-3-9 地質断面図



ボーリング名	No. 1		調査位置	長野市 松岡2丁目		北緯	36° 37' 22"
発注機関	長野広域連合		調査期間	平成 18年 11月 22日 ~ 18年 12月 9日		東経	138° 13' 15"
調査業者名	[Redacted]		現場代理人	[Redacted]		ボーリング責任者 [Redacted]	
孔口標高	345.18m	角	180°上	90°	270°西	ハンマー落下用長	
総掘進長	30.00m	度	180°下	90°	90°東	エンジン	
						YSO-1	
						MFD9	
						V5-P	

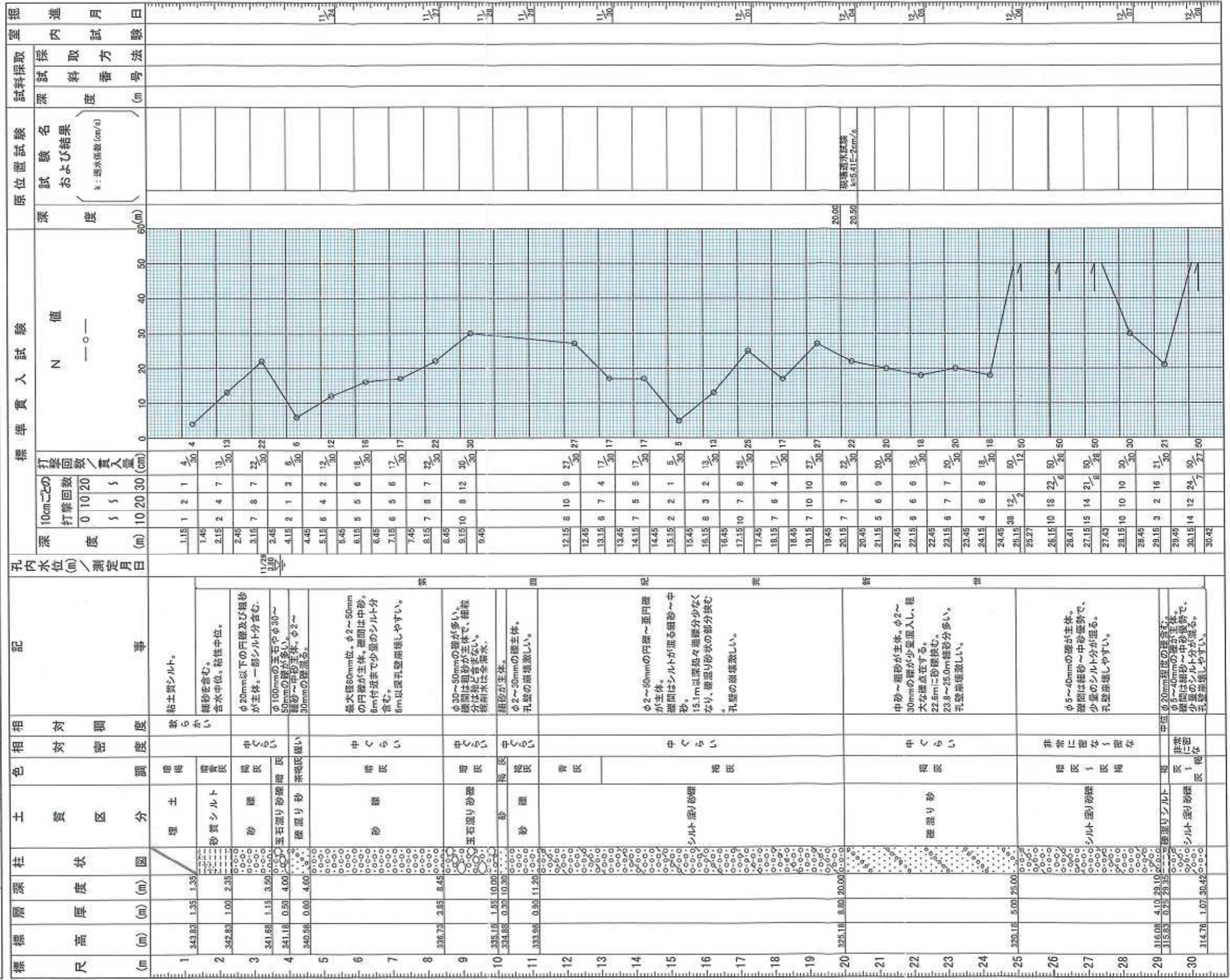


図2-3-10 ボーリング柱状図 No.1地点



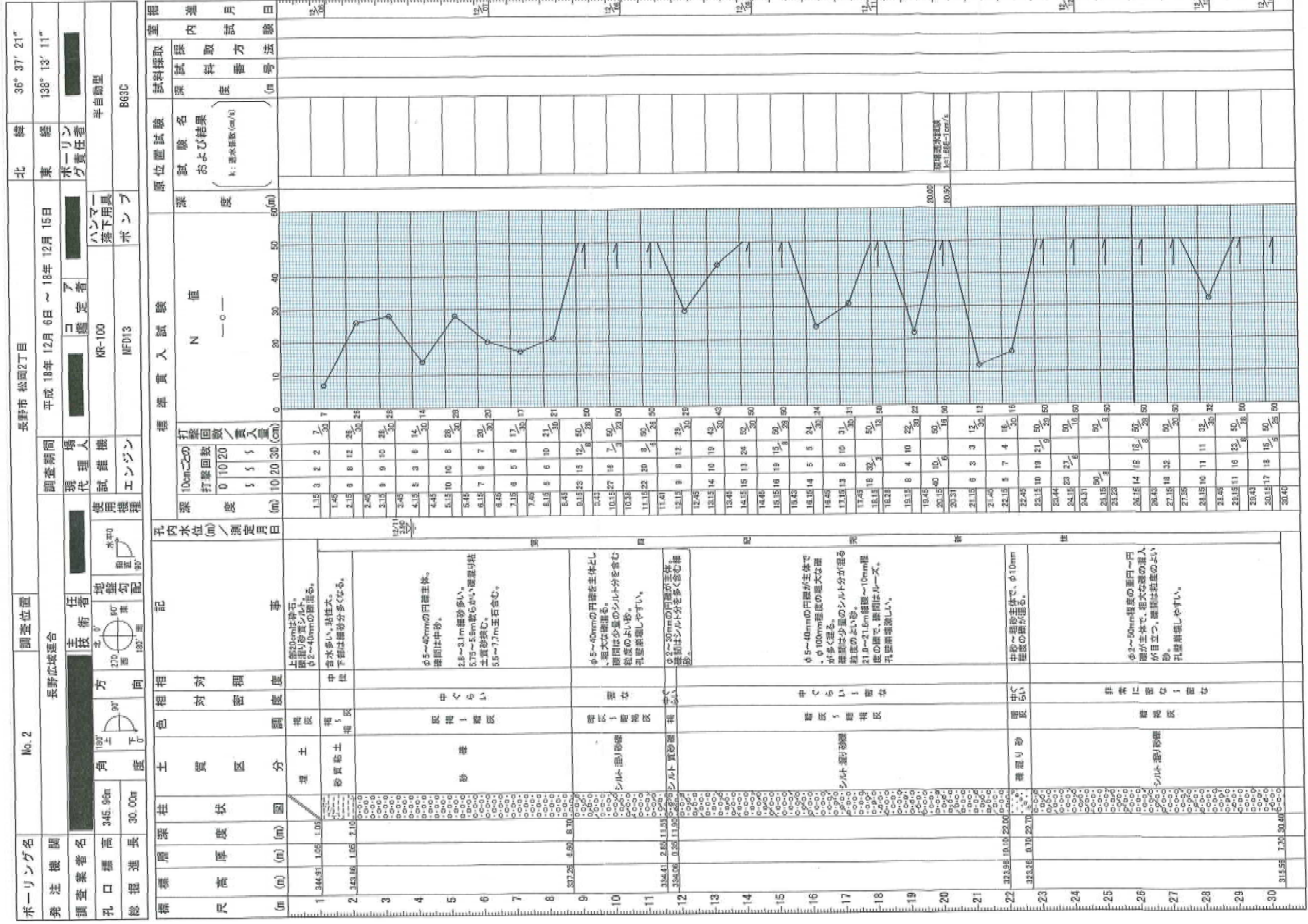


図2-3-11 ボーリング柱状図 No.2地点



ボーリング名	No. 3		調査位置	長野市 松岡2丁目		北緯	36° 37' 21"
発注機関	長野広域連合		調査期間	平成 18年 11月 29日 ~ 18年 12月 15日		東経	138° 13' 09"
調査業者名	[ ]		現代理人	[ ]		ボーリング責任者 [ ]	
孔口標高	345.87m	方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	コ定者	[ ]	ハンマー落下用具	
総掘進長	30.00m	角	180° 上 90° 下 0°	KR-100	[ ]	半自動型	
		度		NFD13	[ ]	BG3C	

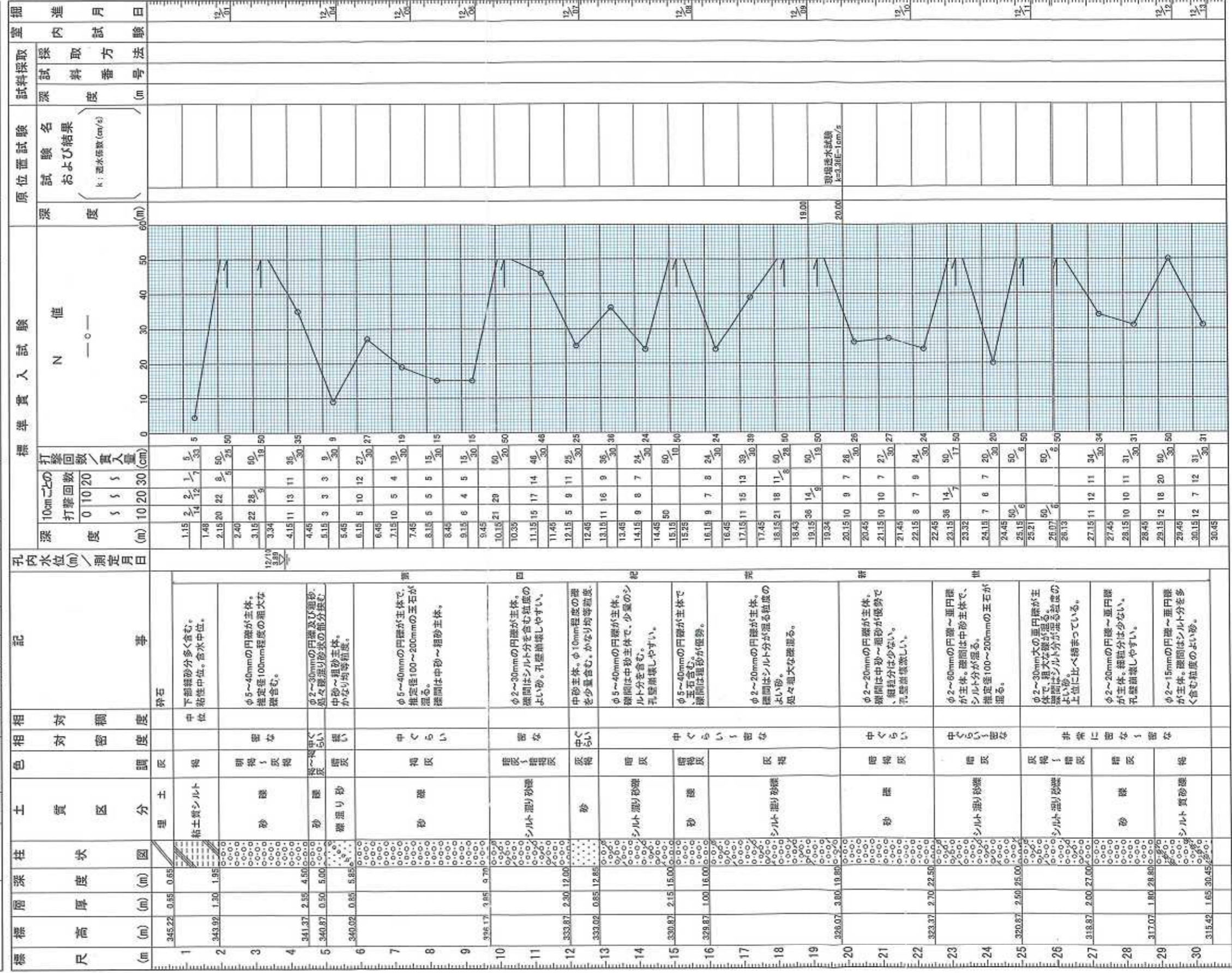
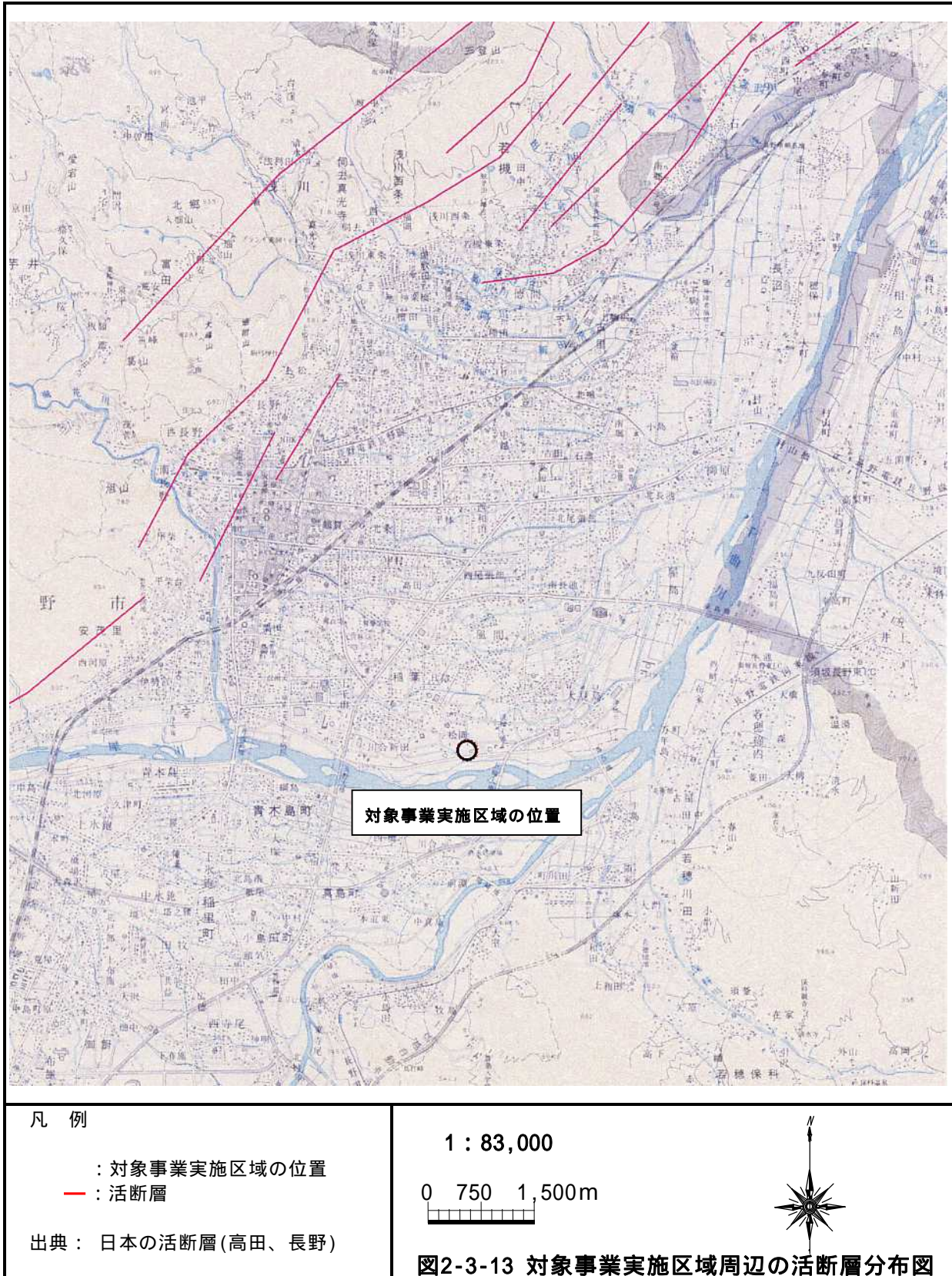


図2-3-12 ボーリング柱状図 No.3地点



(3) 活断層

「日本の活断層（高田、長野）」によると、対象事業実施区域周辺の活断層は、図2-3-13 に示すとおりで、対象事業実施区域から北西に約4.7km離れた付近を、南西から北東方向に長野盆地西縁断層が走っている。



#### ( 4 ) 地すべりおよび崩壊の発生状況

長野市ごみ焼却施設建設地検討委員会最終報告書によると、対象事業実施区域周辺 4 km以内は、地すべり等防止法による地すべり防止区域、急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律による急傾斜地崩壊危険区域及び砂防法による砂防指定地に指定されておらず、地すべり及び崩壊のあったと思われる場所は存在していない。